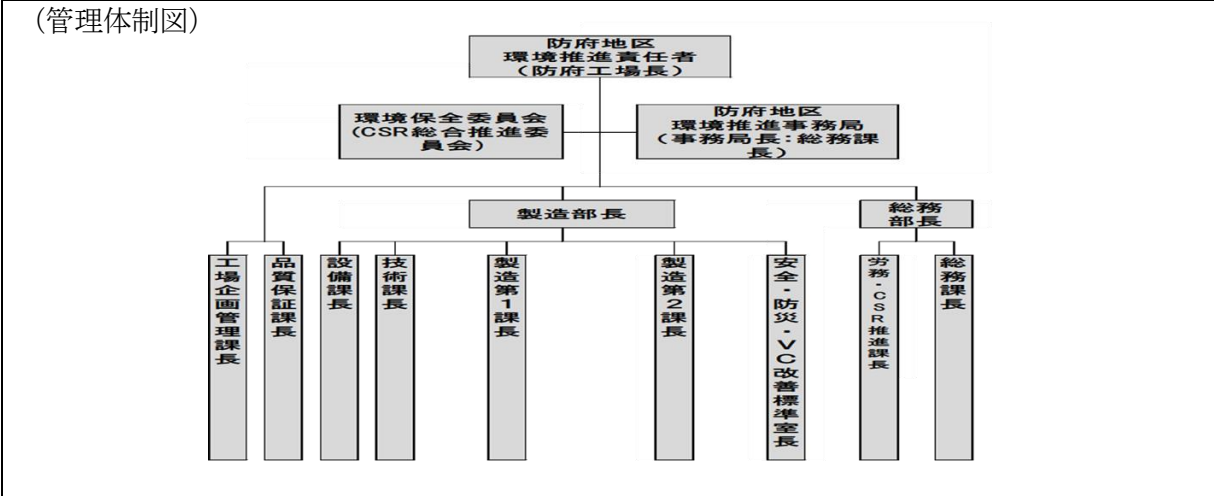


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和6年6月26日 山口県知事 様 提出者 住 所 山口県防府市大字浜方100番地 氏 名 株式会社ブリヂストン防府工場 工場長 河島 雅文 電話番号 0835-22-8111 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ブリヂストン防府工場
事業場の所在地	山口県防府市大字浜方100番地
計画期間	2025年 4月 ～ 2026年 3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	ゴム・皮革業
② 事業の規模	工場出荷額 68,531百万円／年 (2024年4月～2025年3月)
③ 従業員数	1,105名 (2025年3月末 現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	[発生] 産業廃棄物 [最終処分] 社内サーマルリサイクル (スクラップタイヤ、タイヤ材料 他) セメント原料化 (廃油、汚泥) 熔融 (タイヤ材料、その他不燃物)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】 補足の通り		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 対象工程別発生量目標値の設定と管理 ・ 製品不良削減対象項目の設定 及び その削減活動		
② 計画	【目標】 2024年度総排出量実績対比1%削減（補足の通り）		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 有償有効利用の拡大 ・ 完全ゼロエミ（埋立率0%）の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 3Rによる、産業廃棄物及び一般廃棄物削減活動の推進 ・ 個人ゴミ持ち帰り、分別の徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】 補足の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 社内リサイクルの推進		
② 計画	【目標】 補足の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 同上		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】 補足の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 廃プラスチック類及び廃油の一部を(株)ブリヂストン甘木工場の焼却炉で 焼却し、その熱で蒸気を発生させ、蒸気をタイヤの製造に必要な熱 源として使用 ・ 発生した焼却灰は、社外の専門業者にてセメント原料として再生利用		
② 計画	【目標】 補足の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 自社でのサーマルサイクル継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】 補足の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・完全ゼロエミ（埋立率0%）の継続		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・完全ゼロエミ（埋立率0%）の継続		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】 補足の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・品目別に社外の再利用可能先を捜し、受入れ条件（分別など）を満たした業者との契約の促進を行う ・完全ゼロエミ（埋立率0%）の継続		

② 計画	【目標】 補足の通り			
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量	t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記活動の継続			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和7年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名 称	株式会社ブリヂストン防府工場	所在地(市町名)	防府市	事業の種類	ゴム・皮革業
-------------	----------------	----------	-----	-------	--------

区分	種 類	(単位:トン)																			
		排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥	476.350	471.587									476.350	471.587			476.350	471.587				
	廃油	44.970	44.520			23.040	22.810	23.040	22.810			21.930	21.711			21.930	21.711				
	廃酸																				
	廃アルカリ	0.001	0.001									0.001	0.001			0.001	0.001				
	廃プラスチック類	2.462.534	2.437.909			247.090	244.619	247.090	244.619			2.215.444	2.193.290			2.215.444	2.193.290				
	紙くず																				
	木くず	34.390	34.046									34.390	34.046			34.390	34.046				
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
	動物系固形不燃物																				
	ゴムくず																				
	金属くず	26.820	26.552									26.820	26.552			26.820	26.552				
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	1.980	1.960									1.980	1.960			1.980	1.960				
	鋳さい																				
	がれき類																				
	廃電気機械器具	1.790	1.772									1.790	1.772			1.790	1.772				
	複合材	70.090	69.389									70.090	69.389			70.090	69.389				
	pH12.5以上の廃アルカリ(特)	0.830	0.822									0.830	0.822			0.830	0.822				
	燃えやすい廃油(特管)	4.153	4.111									4.153	4.111			4.153	4.111				
計 (A)		3,123.908	3,092.669	0.000	0.000	270.130	267.429	270.130	267.429	0.000	0.000	2,853.778	2,825.240	0.000	0.000	2,853.778	2,825.240	0.000	0.000	0.000	0.000